

平成 29 年度 学校経営方針

斜里町立朝日小学校
校長 中村厚志

目次

- I めざす学校像
- II 学校の教育目標
- III 学校経営の基本方針
- IV 平成 29 年度の学校経営に当たり
- V 本年度の重点教育目標について
- VI 本年度のプロジェクト 4
- VII 実践上の具体的 20 の方策

I めざす学校像

これまでの本校の教育のよさや成果を継承するとともに、さらに学校として充実した教育活動の創造を果たせる学校をめざす。これまで一貫してめざしてきた学校像に立ち戻って取り組む。

- 1 すべての教育活動が「子どものために」営まれる学校
- 2 子どもが生き生き・伸び伸びとしている学校
- 3 地域に開かれている学校
- 4 学校と保護者が信頼し合っている学校
- 5 新しい教育課題をリサーチしている学校
- 6 自ら職能向上を図る組織的な職員集団の学校
- 7 清潔で礼儀正しい学校

II 学校の教育目標

【総括的な目標】

いきいき のびのび 朝日の子

【具体的な目標】

- 一 明るく健康な子（体）
～自らたくましい体をつくり、明るく過ごせる心身共に健康な子ども
- 一 進んで学ぶ子（知）
～進んで学び、自分の考えで課題を解決するとともに豊かな創造性を身に付けた子ども
- 一 互いに認め合う子（意）
～友達を思いやる気持ちを持ち、互いに認め合い、助け合う子ども
- 一 自然に学ぶ子（情）
～自然に学び、その素晴らしさ、偉大さに感動できる豊かな情操を身に付けた子ども

（昭和 63 年 9 月 21 日制定）

III 学校経営の基本方針

1 学校経営の基盤

学校経営の基盤に、日本国憲法、教育基本法、学校教育法を置くこととする。具体的には下記の3点とする。

- (1) ユニークかつ個性伸長の教育
- (2) 「学力」「安全」「人権」を保障する教育
- (3) 自己実現力・自己肯定感を育む教育
- (4) 共生教育（『共生の朝日』）

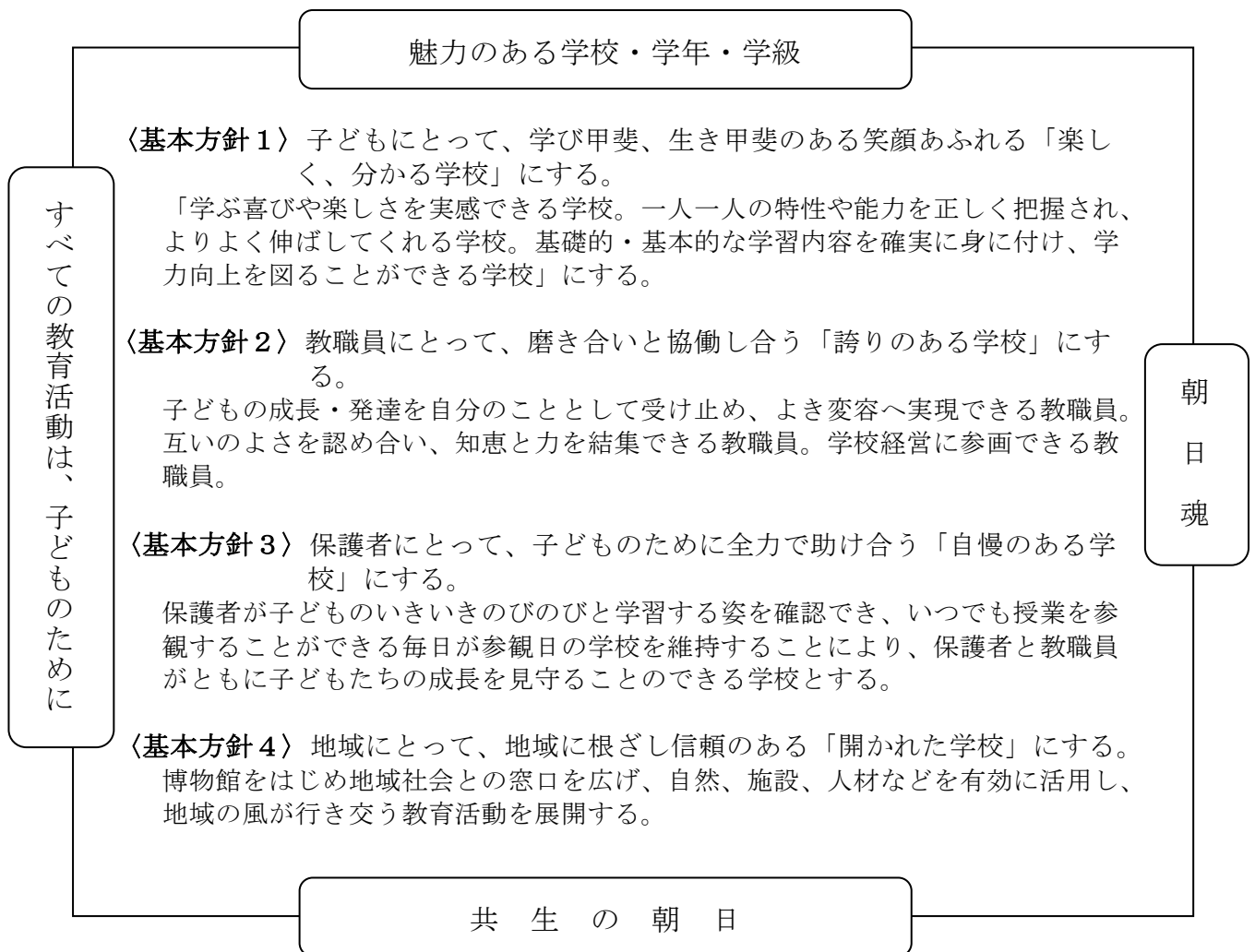
2 基本方針

めざす学校像の第一に示されている～すべての教育活動が「子どものために」営まれる学校～を本校の根本的な基本方針とする。

『すべての教育活動は、子どものために』

本年11月25日(土曜日)、開校30周年記念式典を開催することとなるが、創設以来、『朝日魂』を合言葉にして、「自分を高めようとする強い心」つまり、「よりよく自らを高める精神」「今の自分よりより良い自分になろうとする精神」を堅持していく。いつも目標を掲げ、その目標を高めようとする向上心のある子どもを育成することは、生きる力の礎となるものとする。

以下の4点を学校経営の根本的な方針とする。



3 めざす教師像

朝日小の教職員としてめざしたい教師の姿を下記の4点に表すこととする。

- (1) 専門性を磨く朝日の教師
- (2) 人間性あふれる朝日の教師
- (3) 使命感あふれる朝日の教師
- (4) 保護者から信頼される朝日の教師
- (5) 組織体の一員を自覚する朝日の教師

IV 平成29年度の学校経営に当たり

1, 平成29年度を迎えるに当たり、もう一度大切にしておきたい教育の原理原則

中央教育審議会答申（平成28年12月21日）によると、2030年の社会と、そして更にその先の豊かな未来において、一人一人の子どもたちが、自分の価値を認識するとともに、相手の価値を尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、よりよい人生とよりよい社会を築いていく資質・能力を求めている。

そのために、学校を変化する社会の中に位置付け、学校教育の中核となる教育課程について、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしなが、社会との連携・協働によりその実現を図っていくという「社会に開かれた教育課程」を目指すべき理念として位置付けることとしている。

とりわけ学校教育には、様々な立場から子どもや学校に関わる全ての大人が幅広く共有し活用することによって、生涯にわたる学習とのつながりを見通しながら、子どもたちの多様で質の高い学びを引き出すことができるよう、子どもたちが身に付ける資質・能力や学ぶ内容など、学校教育における学習の全体像を分かりやすく見渡せる「学びの地図」としての役割を果たしていくことが期待されている。

以上のことを踏まえ、公立学校の最高責任者として、「地域と一層のつながりのある学校経営」及び「社会に開かれた教育課程の創造」の実現を図る。そのために、

- (1) 「子どもありき」の視点に立ち、教育課程全体や各教科等の学びを通じて「何ができるようになるのか」という観点から、「何を学ぶか」という必要な指導内容等を検討し、その内容を「どのように学ぶか」という子どもたちの具体的な学びを実現すること。
- (2) 社会とのつながりや、学校教育に「地域の声」を取り込み、地域社会と結び付いた授業改善を図ること。
- (3) 子どもたち一人一人の確かな学力を保障し、社会で生きていくために必要な力を伸ばすこと。
- (4) 子どもたちが楽しく登校できる魅力ある学校づくりに努めること。
- (5) 教育課程の中心に、地域との「共生教育」を位置付け、『共生の朝日』（人との共生・自然との共生・産業文化との共生）として学校の特色ある教育活動を充実する。
- (6) 学校評価による学校改善のために、点検と見直しを繰り返し、教育課程に計画性・一貫性を浸透させること。

の6点に重点を置くこととする。

2, オホーツク管内教育の推進の重点

平成29年第1回定例会において、北海道教育委員会の所管行政の執行に関する主要な方針が提案決議された。冒頭、グローバル化の進展や情報通信技術の発達などが社会のあらゆる領域に様々な変化をもたらしている中、北海道が持続的に発展し、地方創生を実現するためには、地域の発展を支える教育の役割が益々重要となっているとされ、社会が大きく変化する時代にあって、児童生徒には、ふるさと北海道に誇りを持ち、互いに支え合いながら、生涯にわたって生き抜く力を身に付けさせることが求められており、こうした期待に応えていくためには、教育に携わるすべての関係者が、それぞれの果たすべき役割と責務を自覚し、「自立」と「共生」という北海道教育の理念を踏まえ、教育行政を推進していくことが重要だとされ、下記のように、課題・施策の方向性が審議された。

本道の児童生徒の学力・体力については、一部の教科や種目で全国平均を上回るなど改善の傾向が見られるものの、更なる授業の改善や子どもたちの生活習慣の在り方などが課題となっている。

また、いじめの問題においては、児童生徒のささいな変化や兆候であっても、いじめとの関連を常に意識し、緊張感をもって取り組むことが求められている。

北海道教育委員会としては、児童生徒の個性を伸ばし、能力を引き出しながら、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力を身に付けさせるとともに、いじめのない学校づくりなど、学校・家庭・地域・行政が連携して教育環境の一層の充実が図られる学校経営を図ることが大切であるとして

いる。

そこで、平成29年度オホーツク管内教育の推進の重点が、北海道教育委員会の基本目標及び基本方向に照らし、次の5点と示された。

H29 オホーツク管内教育推進の重点

【自立】自然豊かな北の大地で。自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育む。

【共生】心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育む。

《重点1》確かな学力の育成をめざす教育の推進

《重点2》一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

《重点3》豊かな人間性と感性を育む教育の推進

《重点4》心身の健やかな成長を促す教育の推進

《重点5》地域とともにある・信頼される学校づくりの推進

3. 斜里町教育行政執行方針

平成29年第1回町議会定例会において、斜里町教育行政執行方針が示され、同議会において一般質問及び審議が行われた。特に、斜里町では斜里町教育目標を基本に、第6次斜里町総合計画と連動する斜里町教育振興計画の下で教育行政が展開されることとなる。したがって、公立学校として、町教育行政方針に基づき、学校経営を推進することは言うまでもない。

学校教育の分野では、統合や義務教育学校への移行後の施策の柱として、コミュニティースクールの制度（以下「CS」と記す。）を活用するなど、「斜里らしい教育活動の実践」や「地域と一体となった学校づくり」が進められるため、公立学校として、特に、CSの導入、小中連携教育、土曜授業の実施に向けた取組を精力的に取り組んで参りたい。

V 本年度の重点教育目標について

1. 本年度の重点教育目標

自分の目標に向かって、他者と協働しながら行動できる子

また、学力及び体力の数値目標を次のようにする。

「基礎的・基本的な知識及び技能の習得と活用力の育成」

～全国学テにおいて、国語A・算数A・国語B・算数Bは全国平均を超えること。また、算数の授業改善を重点に、全教科で学力下位層を減らすこと。～

～NRT学力検査において、平均正答率80%、偏差値50を超えること～

「体力向上と生活習慣改善に進んで取り組む児童の育成」

～個人の記録を現在より各領域を上げること～

～1日60分以上の運動習慣を育てること～

2. 本年度の重点教育目標設定の理由

(1) 学校評価結果

- ・挨拶の習慣が不十分である。
- ・家庭における読書習慣が身に付いていない。
- ・学校行事への積極的な参加意識が低い。
- ・目的意識を持ち、自らの意思で行動できる力が不十分である。

(2) 学校関係者評価委員会及び学校評議員会からの声

- ・いじわるをされた時の相談相手として、教師の比率がもっと高くても良い。
- ・コミュニケーション能力と挨拶の関わりを大切にすべきである。
- ・家庭におけるTV、ゲーム、動画、インターネットに触れる時間が多すぎる。
- ・家庭の協力がなければ基本的な生活態度は育たない。

(3) 自治会（地域社会）からの声

- ・開校30周年記念を節目とした新しい朝日の教育への理解と協力
- ・豊かな自然の中で行われる教育活動と地域にオープンな学校づくり
- ・子どもの個性を大切にしたい学校づくり
- ・「あいさつ」「礼儀」「高齢者や障害者と触れ合う教育活動」「地域行事に積極的に参加する子ども会」「防災教育」等、学校と地域の深い結びつき

(4) 全国学力・学習状況調査結果

- ・算数科ABの学力が、不安定であり、基礎科目としては大きな課題である
- ・国語、算数共に、児童の意欲、関心共に全道を下回っている。
- ・児童の見通し段階における課題意識が低い。
- ・下位群の児童と上位群の児童に二極分化の状況が見られる。

(5) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

- ・全身筋持久力が低い。
- ・高学年ほど全国との差が大きく、特に、女子は顕著である。

(6) NRT学力検査による児童の実態

- ・全国の水準と比し、算数の偏差値平均が低い。
- ・得点の散らばりは標準的な範囲であるが、算数の段階1、2の下位層が45%を占める。
(児童のケディネスを大切に、基礎的な内容を確実に定着させることが重要である。)

(7) QU心理検査による児童の実態

(略)

(8) 生活リズムチェックシート

(略)

(9) いじめアンケート

(略)

Ⅵ 本年度の「プロジェクト4」 ～学力・体力・心力・地域力～

(1) 学力UP！ [全国平均の学力を身に付けた子どもたち]

- ① オールオホーツクで学力向上を各クラスで徹底すること。
- ② 小中連携、土曜授業の活用による学力向上を図ること。
- ③ 算数の意欲関心を高め、学力を伸ばすことに全力を注ぐこと。
- ④ 家庭学習と家読を徹底すること。
- ⑤ 主体的、対話的、深い学びの視点を大切にされた授業プランを立てること。

(2) 体力UP！ [全道平均の体力を身に付けた子どもたち]

- ① 生活リズムを整え、生活習慣を身に付けさせること。
- ② どさんこ元気アップチャレンジなどを活用して、個々の体力を高めること。
- ③ できるだけ「遊ばせる」こと。
- ④ 掃除や身の回りの管理に責任を持たせること。

(3) 心力UP！ [当たり前のことをしっかり身に付けた子どもたち]

- ① 集団行動や集会活動で、意思決定能力を養い、自己肯定感を育てること。
- ② 自分の夢・希望・目標に向かって、努力すること。
- ③ 礼儀、思いやりの心を中核にし、仲間と協働して問題を解決できること。

(4) 地域力UP！ [地域の中で学ぶことを身に付けた子どもたち]

- ① PDCA×4による学校評価の取組と点検・見直しを繰り返す教育活動を展開すること。
- ② CSの制度導入による、「地域と一体となった学校」「社会に開かれた教育課程の創造」を目指すこと。
- ③ 特色ある教育活動に『共生の朝日』を位置付け、地域資源を生かし、人・自然・産業文化等の共生を目指すこと。

Ⅶ 実践上の具体的20の方策

(1) 学校経営及び分掌経営

子ども一人一人に確かな学力を身に付けさせるために、組織的かつ機動的なチーム経営を行い、安全安心、元気な学校経営を進めること。

- ① PDCAの繰り返しによる学校改善を図ること。
- ② 地域と一体となった学校経営を推進し、数値目標を考慮した学校評価の効果的活用、地域保護者への説明責任を負うこと。
- ③ いじめや不登校の無い学校を目指すために、魅力ある学校づくりを努めること。
- ④ 「校務運営委員会」により、各分掌間の連絡調整を密にし、教育目標の達成状況や学校評価の分析、教育目標の一部改訂作業等に努める。
- ⑤ 「分掌会議」を極力開催し、教育目標の具現化のために部内における協議を密にし、業務の報告、連絡、相談、確認、詰めができる体制を確立すること。
- ⑥ 各役職・各部の業務内容の整理統合と業務内容を明確にすること。

(2) 教育課程経営

児童の意欲を高め、「安定的な学力の保証」「健やかな体力の保証」「豊かな心力の保証」の育成を目指すための教育課程を編成実施すること。

- ① 基礎学力を確実に習得させることを第一にして、第二に、「ひと」「もの」「こと」等地域資源や地域の特色を生かし、社会に開かれた教育課程の創造を図ること。
- ② 斜里町教育行政の課題を的確に理解把握し、適宜調査と研究を進めること。
- ③ 「オールオホーツクで学力向を」の取組を学習係が中心となって推進すること。
- ④ 冬季の時数不足解決の具体的対策のために、年度を通じた時数確保策を講じるとともに、時数集計を正確に記録し、適宜時数の過不足、年間指導計画に基づく学習進度をチェック改善すること。
- ⑤ 各教科及び道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動の各領域の年間指導計画を整備し改善に努め、必要に応じて、学習進度及び週案や実績授業時数結果を保護者に情報開示を行うこと。

(3) 学年経営及び学級経営

いじめを否定し、いじめのない学級づくりを目指し、「楽しい学校・クラス」と実感でき、魅力ある学年・学級経営に努めること。

- ① 4月入門期の黄金の3日間、4月と5月で学級開きを完了し、学級経営の基礎を完了すること。
- ② 発達障害やグレーゾーンと言われる児童、集中力に欠ける児童も、集中かつ安心して学ぶことができる授業のユニバーサルデザインを大事にすること。
- ③ いじめや問題行動を発生させないように、日常的に人の関わり方を道徳の時間や体験活動で実に付けさせること。
- ④ 保護者との間でも、報告連絡相談確認という作業手順を怠らず、保護者との信頼関係に留意する。
- ⑤ 学級経営目標を児童とともに設定し、目標管理能力を育成すること。

(4) 学習指導

基礎的・基本的な指導内容を明確にし、確かな学力を身に付けさせるとともに、自ら学ぶ意欲を育てる学習指導の充実を努めること。

- ① 児童の能力・適正を的確に把握し、教科間の交換授業、習熟度別指導や少人数指導、取り出し指導等により、下位群の児童の学力向上を図ること。
- ② 体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れ、授業の改善を図ること。
- ③ 全学級全児童に対し、学校で統一した学習規律や学習技能を育て、指導内容の重点化、評価規準の明確化による、効果的な指導を確立すること。
- ④ 授業の目標や振り返り、「学び合い」「考え合い」の時間をしっかり確保し、「考える力」を育成するための授業改善を図ること。
- ⑤ ICT機器を活用した指導、ノート等「書く領域」の指導を充実すること。
- ⑥ 補充的な放課後学習や長期休業学習サポートの充実を図ること。
- ⑦ 読書習慣を身に付け、本に親しむとともに「読むこと」領域の充実を努めること。
- ⑧ 全校統一した家庭学習・宿題の取組により、家庭における児童の学習習慣を確立すること。

(5) 道徳指導

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生活の中に生かし、道徳的な心情や判断力、実践意欲、態度などの道徳性を育成すること。

- ① 「思いやり」「礼儀正しさ」及び「夢・希望・目標に向かい努力できる」たくましい心を持った豊かな道徳性を培うこと。
- ② 道徳の時間の充実を図るため、道徳教師推進教師を中心として、体験活動を通じた全体計画及び別葉を作成するとともに、家庭や地域との共通理解を図りつつ、積極的な授業改善や地域への授業公開に努めること。
- ③ 各教科、各領域との関連を図った「考える、議論する道徳」指導に努めること。
- ④ 「わたしたちの道徳」を位置付けた年間指導計画の改善や教材の整備や「人権教室」「命の教

育」「性教育」等において、地域人材の活用等積極的な取組の推進を行うこと。

(6) 特別活動

集団生活の充実を図り、集団の一員としての自覚を深めるとともに自主的、実践的態度の育成に努めること。

① 学級活動

- ・ 基本的生活習慣を身に付けさせ、落ち着きのある支持的な学級風土を創ること。
- ・ 集会活動を適宜計画し、望ましい友達関係の育成に努めること。
- ・ 健康で安全な生活態度を育成すること。

② 児童会活動

- ・ 全校集会活動を積極的に行わせ、魅力ある学校生活に努めること。
- ・ 高学年の自覚を持たせ、よりよい学校生活を創り上げる意欲と態度を育てること。

③ クラブ活動

- ・ 成員の興味や関心、良さや個性を伸ばす活動を計画し、反省評価、改善を図ること。

④ 学校行事

- ・ 学校生活に秩序や変化、潤いを与える活動を行うこと。
- ・ 地域行事との関連を図りながら参加意欲を高めること。
- ・ 集団への所属感、集団行動における規律や品性ある態度を育成すること。

(7) 総合的な学習の時間

総合の趣旨と内容を踏まえ、「ひと」「もの」「こと」等地域の資源を活かし、「自然遺産の故郷一知床ならではの総合」「朝日ならではの総合」カリキュラムの創造に努めること。

① ユネスコスクールに加盟し、地域の自然や社会、歴史産業、文化伝統等に積極的に触れさせることにより、探求的な能力や自己の生き方を育むこと。

② 地域の特色を出すとともに「育てたい力」「評価の観点」を生かした教材開発や評価に努めること。

③ 校長裁量型予算を活用し、近隣市町村校との交流をはじめ、地域ゲストの発掘を図り、ゲストバンク構築を図る。

④ 校長裁量型予算を活用し、学校の裏山の環境整備に着手すること。

⑤ 平成29年度北海道生活科総合研究連盟の北海道大会の開催に全力を尽くすこと。

(8) 外国語活動及び国際理解教育

日本や諸外国の文化・伝統を理解し、異なる文化を持つ人々との交流をしながら、それを尊重する態度を育てる。そのためAET及び日本語教師を積極的に活用すること。

① 相手の考えを理解しながら聞くとともに、自分の考えを的確に表現できる能力を育てること。

② 誰に対しても差別や偏見を持たず、人権を尊重し、異なる国や人であっても正しく接する態度を育てること。

③ 外国語活動を通して、コミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を育成すること。

(9) 特別支援教育

児童の自立と社会性を育む教育の充実に努めるとともに、児童や保護者の教育的ニーズに応じて、一人一人の持つ可能性を最大限伸ばすよう努めること。

① 保護者の求めを常に探り、随時の保護者会を開催する等にして、十分な連携と共通理解を図りながら、チームアプローチ等個の実態に応じた指導を工夫改善すること。

② 特別支援教育コーディネーターを複数配置し、校内研修や関係会議で担任間の共通理解を深めること。

③ ケース会議等児童の日常的な情報交流を行うとともに、保護者との連携を密にしながら、個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成し、授業改善や指導方法の改善に努め、確実に引継を行

うこと。

- ④ 校長裁量型予算を活用した教材教具の購入による個別指導の充実を図ること。

(10) 情報教育

情報手段に慣れ親しみ、有効に活用した学習活動を充実させるとともに、情報に対する正しい認識を身に付けさせること。

- ① 教科の特性を考慮し、課題意識や思考力を高める教育機器の活用を図ること。
- ② 情報収集や処理、活用能力を高めること。
- ③ S-CEDC（斜里町コンピュータ教育開発センター）との連携・協力を図り、各教室実物投影機一台の配置を行い授業におけるコンピュータの積極的な活用に努めること。
- ④ 情報管理を徹底し、外部に情報が漏えいしないこと。
- ⑤ 学校図書館の計画的な利用及び充実を図り、児童の意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。
- ⑥ 公共図書館との連携を図り、学校図書館司書教諭の有効的な活用を進めること。

(11) 環境教育

地球環境を守るため、環境保全や共生、エネルギー等への関心を高め、環境教育の充実を図ること。

- ① 環境への関心、人間の果たす役割と責任についての認識を深め、ゴミ分別活動等の環境教育を通して、環境保全に積極的に参加・貢献しようとする実践的態度や能力を育てること。
- ② 博物館・美術館等地域関係団体と連携し、自然との触れ合いや体験的な活動を通して、環境への感性を育てること。

(12) 福祉教育

障害者差別解消法の趣旨を踏まえ、障害を持つ人やお年寄り等の弱者に対する正しい理解をさせるとともに、体験的な活動を通して他者への配慮や「思いやり」「優しさ」の心情や共に生きることの大切さを理解させること。

- ① 道徳の時間や総合的な学習の時間との関連を図った教育活動を展開すること。
- ② 校区内福祉施設・福祉協議会等、関係機関との連携を図り、児童の主体性を生かした活動を展開すること。
- ③ いきいき学習の時間を生かし、地域社会における福祉教育の充実を図ること。

(13) キャリア教育

正しい勤労感や職業観を持ち、自己の将来に向けて「夢や希望」を持つことができるように指導支援を行うこと。

- ① 学校や日常家庭生活の中で、学習意欲の向上や目標に向かって努力する態度を養うこと。
- ② 異年齢集団活動を通じて、自他の良さを認め合ったり、共同する心を育むこと。
- ③ 係り活動、当番活動、専門委員会活動等を充実し、成就感、達成感、所属感を味わわせ、地域や他人に役立つことの大切さと感謝する心を育てること。

(14) 生徒指導

共感的理解を基盤とし、全教職員の共通理解に立って、自らの目標を達成したり、学級集団や学校や地域社会の一員として認められたりする等自己指導力を育成すること。

- ① 各学年に応じた基本的生活習慣を育み、児童に寄り添った教育相談体制を確立すること。
- ② 関係機関との連携を図り、「不登校傾向診断チェックシート」等を活用し不登校や問題行動の未然防止、早期発見・早期解決、再発防止のための対応システム生徒指導委員会を組織すること。
- ③ 学級経営交流会、月毎の学年・学級経営の重点、生徒指導交流会、事例研究等を通し、教育相談の技能を高めること。

- ④ 「北海道いじめの防止に関する条例」制定にもとづき、「朝日小いじめ防止基本方針」並びに校内に「いじめ防止対策委員会」を組織し、いじめの未然防止、早期発見と対策、再発防止を図ることとする。
- ⑤ 学校生活のきまりの随時見直しを図り、児童自ら行動できるよう生活習慣や社会規範意識を育成すること。
- ⑥ 本校の伝統である「みっつの『あ』運動」を継続指導し、家庭や地域でも実践できるように促すこと。
- ⑦ バス利用における事故防止及びバス乗車の指導を徹底すること。

(15) 健康安全指導

健康や運動に対する関心・意欲を高めるとともに、自他の生命を尊び、健康の保持や安全な生活を営むために必要な態度や能力を育成すること。

- ① 新体力テストの全学年全学級全種目実施により運動能力の把握に努め、「どさんこ元気アップチャレンジ」等を活用した一校一運動等体づくりの充実と日常化を図ること。
- ② 健康管理の習慣化や安全教育、とりわけ交通安全指導、フッ化物洗口による歯科衛生の徹底、薬物乱用防止教育に努めること。
- ③ 危機管理マニュアルの見直しや安全マップの作成等を行い、教職員の共通理解に努めるとともに、安全教育の徹底を図ること。
- ④ 教科や総合的な学習の時間、給食指導等を通して、児童に食の重要性の意識を育てる。その際、栄養教諭との連携し、「食育の授業」を各学年一度ずつ計画すること。
- ⑤ 家庭と連携し生活リズムチェックシートの実施による生活習慣を図ること。

(16) 校内研修

組織的な研修体制を確立し、教職員の指導力や実践力等の資質向上に努め、人材育成を図る。

- ① 教育実践発表会を開催し、研修の充実を図ること。
- ② 各種研究会、講習会、先進校の視察など計画的な対外研修を進める、また、指導主事研究機関等から外部講師を招聘し研修の充実を図ること。
- ③ 若手教員への研修の充実を図るため、ミニ研修や実技研修の企画を積極的に進める。
- ④ 特別支援教育の理解を深め、実践すること。その他必要な教育課題について研修を深めること。
- ⑤ 研究推進校との交流を図るなど、校内研修の充実を図ること。
- ⑥ 学校教育指導の計画を立て、指導の充実を図ること。

(17) 統閉校に関わること

統合後を生かした教育活動を行うこと。

- ① 各地域における特色を生かした諸行事、学習活動の創意工夫に努めること
- ② 各地域の児童、保護者の思いや願いを共有し、旧学校の歴史と伝統を尊重すること。
- ③ 旧児童の学習、生活に手厚いケアを欠かさないこと。
- ④ 町教委とよく連絡を取り合い、スクールバス運行を円滑に行い、絶対事故を起こさないこと。

(18) 学校間連携

学校間の情報交流等積極的な連携を図ることにより、小1プログラム、中1ギャップ等未然に予防すること。

- ① 保育所、幼稚園との連携を図ること。
- ② 他小学校との連携を図ること。
- ③ 中学校との連携を図ること。
- ④ その他、高等学校、大学等の高等教育機関との連携を図ること。

(19) 家庭や地域との連携協力

学校と家庭地域と連携協力し、開かれた学校、地域から信頼される学校を目指すこと。

- ① P T Aとの連携しP T A活動の活性化と組織の見直しを図ること。
- ② 学校評議員会、学校関係者評価会、C S制度導入準備委員会を開催すること。
- ③ 「仲よしクラブ」との連携と協力を行うこと。
- ④ 校区域自治会（特に朝日第二自治会）、子ども会、同左自治会「宝寿会」等校区住民との連携協力を図ること。
- ⑤ 少年団活動や斜里ジュニアバンド等の社会教育及び社会体育団体活動への支援と協力を行うこと。
- ⑥ 校長裁量型予算を活用し、校長主宰の「朝日小つむぎ子屋」をP T A研修部長と連携協力し実施すること。
- ⑦ 平成29年度に「開校30周年記念」を迎えるに当たり、協賛会と連携協力し、関連事業に全力で取り組むこと。

(20) 教職員の服務

適切な勤務管理や不祥事防止等管理職の日常的な指導を徹底すること。

- ① 教職員の服務に関するコンプライアンス確立月間を含め年3回以上の研修を設定すること。
- ② 体罰、交通違反、セクハラ、情報漏えい、金銭紛失事故等未然防止のため、毎月11日を「朝日小セーフティ宣言の日」を新設すること。特に、体罰調査及びアンガーマネジメントの手法により、職員全員が体罰防止に努めること。
- ③ 特に、「体罰」並びに指導上止むを得ない言動と明確に区別した「教師の不適切な言動」と「悪質な交通違反」の2点については、重点事項とすること。
- ④ 管理職は、裁判・懲戒処分事例や防止マニュアル等服務に関する啓発資料を適宜配布し、必要に応じて職員会議、校内研修において指導助言を行うこと。